

この1年、世界は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。
高齢社会が抱えてきた脆弱性が浮き彫りになったと同時に、
新たな可能性が広がった領域も少なくありません。
コロナ禍を超えて高齢社会の未来の姿を模索する上で、
これまで以上に総合知が求められています。

高齢社会の 未来協創

Collaborative creation in Future Super-Ageing Society/Community
- New Challenge Targeting "with/post-CORONA Era" with Comprehensive Knowledge -

総合知で挑む *with/post* コロナ時代

2021年 3月3日(水) 13:30-16:30

[開催方法]: Zoomを用いたオンライン開催

[定員]: 300名 *参加は事前登録制です。定員になり次第、受付を終了します。

[対象]: 高齢社会に関する研究・教育に興味を持っている方であれば
どなたでもご参加いただけます。

[参加費]: 無料

[申込締切]: 2021年2月28日(日)



[申込方法]:

QRコード(下記サイト)よりお申込みください。

← <http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/?p=5700>

[主催]



東京大学 高齢社会総合研究機構
INSTITUTE OF GERONTOLOGY, The University of Tokyo



東京大学未来ビジョン研究センター
Institute for Future Initiatives, The University of Tokyo

東京大学 高齢社会総合研究機構 (IOG) が、
2020年4月より学内9研究科・2研究所の連携研究機構として
新体制で発足しました。地域連携、産学連携、政策提言を柱として
高齢社会の抱える多様な課題の解決を目指す
「高齢社会総合学：ジェロントロジー」をこれまで以上に熱く推し進めていきます。
シンポジウムでは、前半でIOGがこの1年取り組んできた
研究・教育活動を報告するとともに、
後半ではコロナ禍を超える高齢社会の未来をどのように描くか、
そこに学术界が民産官とともにどのように貢献していくべきであるか、
議論する場を設けます。

Program

13:30-13:40 開会の挨拶

13:40-15:00 IOG活動報告

- IOG 2.0の概要(飯島勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構 (IOG)・機構長)
- 地域連携・アクションリサーチの展開
- 新たな産学連携の展開：ジェロントロジー・アカデミー
- 高齢社会総合研究国際卓越大学院 (WINGS-GLAFS)の活動

15:00-15:15 休憩

15:15-16:25 パネルディスカッション

- 「with/post コロナ時代を見据え
総合知で未来社会を協創する」
産業界、自治体、学内関係者を混えて議論します

パネリスト：

飯島勝矢 IOG機構長/未来ビジョン研究センター教授
大月敏雄 IOG副機構長/工学系研究科建築学専攻教授
松田雄二 工学系研究科建築学専攻准教授 / 二瓶美里 新領域創成科学研究科准教授
檜山 敦 先端科学技術研究センター講師 / 孫 輔卿 未来ビジョン研究センター特任講師
菅原育子 未来ビジョン研究センター特任講師



飯島勝矢



大月敏雄



松田雄二



二瓶美里



檜山 敦



孫 輔卿



菅原育子

16:25-16:30 閉会

